



1 学食・社食等における食品ロス削減の普及啓発

取組概要

〈実施内容〉

日常生活において「食」を特に意識する食堂で、食品ロスに関するメッセージを記載した卓上ポップをテーブルに設置し、食品ロス問題に関する気づきや動機付けを行い、行動変容への転機とする。また、食堂利用者に対し、今回の取組や食品ロス問題に関するアンケート調査を実施する。
また、アンケート調査では、沖縄県食品ロス削減県民運動ロゴマークの愛称を募集する。

〈実施場所〉 NHK、JICA沖縄、沖縄セルラー、昭和薬科附属高等学校、沖縄尚学高等学校、名桜大学、琉球大学、沖縄県立芸術大学、沖縄国際大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄大学、沖縄総合事務局、沖縄の産業まつり（オリオンビアガーデン）

〈実施期間〉 令和5年9月11日（月）～令和5年11月30日（木）

アンケート調査結果

- ・実施期間：令和5年9月11日（月）～令和5年11月17日（金）
- ・回答数：153

今回の卓上ポップを用いた食品ロス削減の啓発について、「食品ロス問題を知るきっかけになった。」と答えた人は120人（78%）であり、県民へ意識啓発が図られたと考える。今後も引き続き実施場所を展開して取り組む。



2 ホテル等における未利用食品の有効活用

取組概要

〈実施内容〉 ホテル等の利用者を対象に、フロントやチラシを用いた館内掲示により未利用食品（常温保存が可能で賞味期限が2ヶ月以上の未開封の食品）の提供について協力を呼びかけ、集まった食品をフードバンク等へ提供し有効活用を図る。

〈実施場所〉 朝陽の宿 ^{しだかじ}涼風、HIDEOUT OKINAWA URUMA

〈実施期間〉 令和5年9月7日（月）～

実施結果

- ・現時点では、ホテル利用者からの未利用食品の提供は無し。
- ・今後も継続して取り組むとともに、県内の各ホテル事業者に対し、未利用食品の発生状況等に関するアンケート調査への協力を依頼予定



3 消費者に対する普及啓発

令和5年度は、ポスターやチラシ等を用いて、食品ロス削減及び「沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度」の普及啓発を以下のイベントで実施

(1) 沖縄県立図書館におけるパネル展示

日程：令和5年10月11日（水）～10月23日（月）
場所：沖縄県立図書館3階

(2) 沖縄の産業まつり

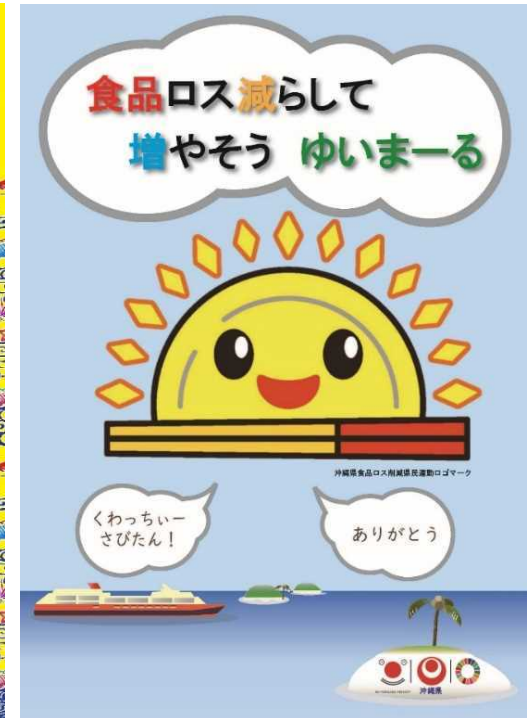
日程：令和5年10月27日（金）～10月29日（日）
場所：奥武山公園

(3) おきなわ花と食のフェスティバル

日程：令和6年1月20日（土）・1月21日（日）
場所：奥武山公園



沖縄県食品ロス削減県民運動パートナー登録制度周知チラシ



食品ロス削減啓発ポスター



委員からの主な意見		事務局の対応案
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等での啓発は単発的な感じがするので、学校、量販店等消費者がたくさん訪問するところを考えてはどうか。 ・ 今の小学生が大人になった時にどう取り組んでももらえるのかというところは非常に重要であるので、小学生向けに普及啓発、勉強会など食品ロスに対して考える場があればと思う。 ・ 離島県において食品を安定供給する大変さを踏まえた上で食品ロスの削減に取り組まなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度は食品ロス削減への協力を呼びかける啓発グッズを作成し、県内の小売業者と連携して各店舗において県民に対し啓発を行いたいと考えている。 ・ 令和4年度に多良間小学校で食品ロス削減や防災備蓄に関する講座を実施したところである。今後は、消費生活センターで実施している出前講座や、食育推進計画と連携した取組を行っていく。
食品ロス削減県民運動 パートナー登録制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度決めた共同宣言では、県民（消費者）がトップになっているので、パートナー登録制度は事業者を対象とした制度ではあるが、サポーターのような形で消費者に参画してもらうということがあってもよいのではないかと。 (県のHPに消費者用の賛同カウンターを設置する等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同宣言を踏まえ、消費者が事業者の取組に協力できるような制度となるよう、消費者の制度への参画の仕方について改めて検討する。



	委員からの主な意見	事務局の対応案
未利用食品有効活用の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> どこに食品を寄付したらよいか分からない人もいるので、提供方法について周知するだけでも、提供側に対するアプローチとして有効である。 需要と供給の希望をある程度リアルタイムで県が情報提供してチェックする、マッチングの仕組みを構築してもらいたい。 食品ロス削減と生活困窮者支援の2つの目標を掲げるのはかなり難しいのではないかと思う。目的を限定した仕組みづくりでないと機能しないと考えた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内のフードバンク活動団体等の情報や、食品を受け取る際にフードバンク活動団体等が必要な情報等について案内し、食品提供団体とフードバンク活動団体等がそれぞれ円滑にやり取りを行うことができるよう、未利用食品の提供に関する情報発信を行う。 現在、県内の小売業者やフードバンク活動団体等にヒアリングを実施し、実態を把握したところである。今後も引き続き各業界団体へ未利用食品の発生状況等についてヒアリングを実施し、効果的な有効活用の仕組みについて検討を行う。
食品ロス削減の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減と未利用食品の有効活用による生活困窮者支援を取組の目的としているが、食品ロスを削減しようとする和生活困窮者へ回す物資がなくなっていく。目的、優先順位を明確にしてもらわないと議論ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの削減が基本的な目的であるが、沖縄県では子どもの貧困等が問題となっているため、余ってしまった未利用食品についてはフードバンク活動団体等と連携しながら活用するという考えである。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 今後は観光客の増加が見込まれるが、ホテルから出る食品ロスについて量的なものを調べて見える化し、課題解決に向けて検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内各ホテルに未利用食品の発生状況に関するアンケート調査への協力を依頼し、調査結果から課題等を確認し、取組について検討を行う。